

箱根組ニュース

第295号 2017年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

雁ヶ腹摺山、新緑の美しい森と宙に浮いてくるような富士山に魅了される！

5月21日(日)、京王線新宿駅発6時57分の特急高尾行に乗車。

高尾でJR中央本線河口湖行きに乗り換え、大月に8時28分着。降り立ったのは、川名夫人、奥村、神吉、有倉、及川、和田、西川、戸丸の8名。

HPを調べたら驚いたことに丁度2年前、1995年のまったく同じ日、5月21日に登っていた。その時は最初は雨だった。田村リーダーと一緒に7名で。今回参加の有倉、戸丸はその時も登っていた。

さて予約していたタクシー二台に乗り込んで大峠に向かう。高度をぐんぐん上げて駅から約1000mほども登ってゆく。

9時20分、大峠に到着。さわやかな空気と新緑の緑。ここからの富士を見ただけでも十分に価値がある。体操をして身支度をする。

9時55分、富士に見守られるようにして出発。峠から西側に行けば黒岳、さらに北に進めば大菩薩峠へ続く尾根道

になる。

まぶしい緑の森の東側の登山道に入ってゆく。熊出没注意の黄色い看板がある。丸木の階段を上る。少し登ると枯れ笹の緩い下りになる。右に落ち込む斜面に付いた道を進む。途中いくつかの板の橋を渡る。気持ちのいい平坦な林を進む。落葉松の芽吹いた緑が美しい。山道は大菩薩の付近の雰囲気にも似ている。

10時16分、少し長い板橋を渡る。その後は道は少し急になってくる。丸い大岩が周囲にいくつも置いてあるように構えている、面白い景色だ。木々の緑は芽吹いたばかりで枝越しに景色がよく見える。この季節ならではの見通しのよさだ。

10時58分、展望の良い地点で振り返ると富士が三つ峠の向こうに浮かんでいた。絶景だ。

11時9分、ピークを越えると草原になる。(22年前に来た時は雨上がりに採ったフキの若葉で味噌汁を作った。美味しくて二度も作った。) 緩やかな草原を



少し登る。

11時15分、1874mの山頂だ。先客が何組も休んでいた。記念撮影をして、少し暑いので木漏れ日の差し込む半日陰の場所です。少し早いが昼食だ。いつものように持ち寄りの惣菜で。少しのビールで乾杯。

12時35分、下山開始。今日のコースは登り1時間、下り3時間の予定だが、途中の姥子山に寄ることになったので、下りは3時間40分になる。草原を少し下ってゆくとすぐに左に姥子山、金山峠方面への分岐を進む。その先の苔むした大岩の自然林は迫力がある。

及川さんより3000円頂きました。ありがとうございました。

現在の収支	
繰越収入	30152 円
	3000 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	31752 円

切手残数	
82円切手	
40円切手	
138枚	

明るいシラビソの林を抜けると雑木林の山になる。気持ちのいい平坦な林になる。1時30分、白樺平分岐。左が姥子山へのルートだ。5分ほど下ると舗装の林道に出る。ここで、待機をの西川さんを除く7名は



姥子山に向かう。5分ほどで姥子山の西峰に到着。ピークはここらしいが展望もなく山頂らしくないので東峰に進む。岩場を下って鞍部から再び登ってゆくとコイワカガミが群生している。岩場を登りきる。

2時、東峰に到着。絶景だ。頑張ってきたかいがある景色だ。少し景色を楽しんで来た道を花をめぐりながら戻る。2時20分、西川さんの待つ分岐点に戻った。待ち人は気持ちよく寝ていたようだ。金山峠の標識に沿ってしば

次回6月17日(土) 宿谷の滝で天ぷらです。

ラクダコース 歩行2時間半

八高線の毛呂駅から歩き、鎌北湖によって宿谷の滝に行きます。

※お弁当はいりません。

野草天ぷらと、うどん・蕎麦を作ります。

○持ち物 食器、箸、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

申し込みは6月15日(木)までに

集合 6月17日(土)
東武東上線 池袋駅 7:45 発
急行小川町行き(前から3両目)

途中駅発

成増 7:55 和光市 7:57 朝霞台 8:02

志木 8:04 ふじみ野 8:11

川越 8:15 (JR川越線八王子行きに乗換)

8:26発 高麗川 8:50着 (八高線乗換)

9:07発 毛呂 9:13着

交通費 池袋～毛呂 片道880円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



らくは広い舗装路を進む。

2時41分、車道から左に山道を折れる。標識には百間干場方面とある。落葉松の緑、雑木林の優しい緑、そこにツツジのピンクがよく似合う。ヒノキ林の斜面を下ってゆくと鞍部になり、また登りにかかる。

3時28分、急な坂を下りたところで未舗装の林道に出る。平坦な地形をのん

びり歩いて
いると緑の
美しさに見
とれる。空
を仰ぐと青
空を透かし
て淡い緑が
とてもきれ
いだ。畑倉
用水水源地
の立派な看
板がある。

3時41
分、百間干

場着。名前の由来はわからないが何かきつと干したに違いないと思わせる広さがある。

林道は左方向の奈良子に下っていくがルート of 金山峠の山道は右の登り方向だ。こういう地点は間違いやすいので要注意。地図でしっかりと確認する。疲れた体に鞭打って登ってゆく。しかしこの緑が見事だった。疲れを忘れさせる圧倒的な美しさだった。

3時52分、金山峠着、金山峠山頂と書いてある。右、金山民宿村と書いてあるが、奥村さん持参の最新の地図には荒れているので危険とある、まっすぐの大垓山方面から向かうことにする。



4時20分、大垓山への分岐を³
左に分けて右方向に下りてゆく。

5時15分、尾根を外れて道は右の谷に下りてゆく。ぐんぐん高度を下げて沢を渡ると、5時45分、山口館に到着。お風呂はあきらめてタクシーで大月駅へ向かう。一日中充分歩いて大満足。

※2017年 夏の募集!

●7月28日(金) ～30日(日)

南アルプス仙丈ヶ岳・テント2泊
予定

7/28(金) 北沢峠テント泊

7/29(土) 仙丈ヶ岳登山

登り4時間 下り3時間 テント泊

7/30(日) 甲府で昼食・帰京

※食料6～7食持参 シュラフ必要
申込者 奥村、有倉、戸丸の3名

●8月19日(土)、20日(日)

群馬・玉原高原バスツアー

※定員になりましたが、参加希望者は
ご相談ください。

参加申し込み者 田村、菊池、奥村、
和田、星野親子、神山、坂巻夫妻、
神吉、川名、及川、太田、星野(幸)、
谷田、戸丸の16名

●宿 北橘温泉 たちばなの里 城山

